

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第48号

会員数

男性 1,735人

女性 515人

2,250人

平成26年11月末現在

編集・発行

公益社団法人

松戸市シルバー人材センター

〒271-0043

松戸市旭町1-174

TEL 047(330)5005

FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター

ホームページ

www.matsudoshi-silver.or.jp

E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 平成27年1月1日



毘沙門天(医王寺)



弁財天(華厳寺)



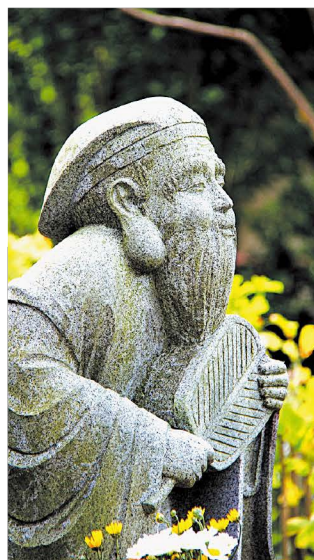
恵比寿(金蔵院)



大黒天(宝蔵院)



松戸七福神



寿老人(徳蔵院)



福祿寿(圓能寺)



布袋尊(善照寺)

(解説は2頁)

謹賀新年



理事長

高橋 邦雄

輝かしい新春を迎え皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年には自然災害による悲しいニュースが多く報じられた一年でしたが、今年は穏やかな年になることを願って止みません。

さて会員の皆様の中には暮れから帰省された方もおられると思いますが、松戸っ子の私にはふるさとを持つ方が羨ましいかぎりです。そこで今号では、皆様の「私のふるさと」について募集したところ多くのご寄稿を頂き、これの特集として掲載させていただきます。ぜひ皆様も記事をご覧になってふるさとに思いを馳せてみてください。

今年もシルバー人材センターは皆様のお力を戴きつつ躍進し一層地域に貢献してまいりたいと思います。そして更なる就業開拓を図り、会員の増加を目指してまいります。

また昨年は喜ばしいことに就業中の事故が激減しました。今年は事故ゼロが実現できるよう、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

春とはいえこれからいよいよ厳しい寒さの季節です。風邪をひかぬようご自愛され、結びに皆様のご健康をお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



松戸市長
本郷谷 健次

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

高橋理事長をはじめ、公益社団法人松戸市シルバー人材センターの皆様には、活力のある地域社会の実現にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

高齢化が益々進む今日にあ



松戸市議会議長
大井 知敏

明けましておめでとうございます。会員の皆様には清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

現在、本市では65歳以上の方が11万人を超え、活力ある長寿社会を実現するために、高齢者施策の充実が市政の重要な課題となっております。

こうした中、働く意欲を持つ元気な高齢者に就業機会を提供することは大変重要であ

って、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを持つことができる環境の整備は大変重要であると認識しております。

本市におきましても、高齢者の皆様が住み慣れた地域で豊かさを実感でき、安全で安心して暮らせるまちづくりに引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様の変わりぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様にとりまして、本年が幸多き年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

り、松戸市シルバー人材センターへの期待が益々高まっておりますところであります。

皆様の活動は、地域にとつて貴重な力であり、住みやすい松戸のまちを支えておられます。どうか健康にご留意されながら、引き続き、生きがいを持つて仲良くご活躍いただきたいと存じます。

結びに、貴センターが益々ご発展されますと共に、会員の皆様にとりまして、本年が明るく幸せな年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶といたします。

理事会報告

◆第6回 平成26年9月25日

- (1) 承認事項
 - ・入会者の承認について
- (2) 報告事項
 - ・事業実施状況報告について
- ・専門部会関係
 - 専門部会等の活動状況報告
- (3) その他

◆第7回 同年10月22日

- (1) 承認事項
 - ・入会者の承認について
- (2) 報告事項
 - ・事業実施状況報告について
- ・未収金について
- ・予算執行状況について
- ・専門部会関係
 - 専門部会等の活動状況報告
- (3) その他

◆第8回 同年11月26日

- (1) 承認事項
 - ・入会者の承認について
- (2) 議案事項
 - ・議案第3号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター職員就業規則の一部を改正する規則の制定について

・議案第4号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター再雇用職員就業規則の一部を改正する規則の制定について

- ・議案第5号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター個人情報保護規程の一部を改正する規程の制定について
- (3) 報告事項
 - ・事業実施状況報告について
- ・専門部会関係
 - 専門部会等の活動状況報告
- (4) その他

事務局からのお知らせ

▼就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務所で行っております。お気軽にご相談ください。

また就業情報は、センター事務所の掲示板やホームページでもお知らせしています。

▼コンビニエンスストアでのお支払いが可能に

平成26年7月より、単発仕事のお客様への請求書は「圧着ハガキ」でお送りしています。この圧着ハガキで、各コ

ンビエンスストア（以下CSと略）でのお支払いが24時間可能になりました。

支払い方法は、請求書に添付されている払込票をレジに提出して頂くだけで、ATMの操作や振込依頼書への記入は必要ありません。

なおCSでの支払い手数料は、請求金額が5万円未満の場合は129円、5万円以上の場合は329円となります。

※【七福神】解説

◇由来：…仏教經典の「七難即滅七福即生」の説に基づき、恵比寿（日本）・大黒天（印度）・毘沙門天（印度）・弁財天（印度）・福祿寿（中国）・寿老人（中国）・布袋（中国）の七柱の神を参拝すると災厄が除かれ、幸福が授かるという民間信仰です。室町時代末頃に生じ、特に農民・漁民に篤く信仰されています。

◇市内の所在地（順不同）

- ①恵比寿／旭・金蔵院
- ②大黒天／上矢切・宝蔵院
- ③毘沙門天／中金杉・医王寺
- ④弁財天／幸田・華厳寺
- ⑤福祿寿／千駄堀・圓能寺
- ⑥寿老人／日暮・徳蔵院
- ⑦布袋／松戸・善照寺

▼正会員・賛助会員会費の納入について

26年度会費未納の方は、左記により早急にご納入をお願いいたします。

振込先千葉銀行小金原支店

普通口座 3029246

公益社団法人松戸市シルバー人材センター理事長

高橋邦雄

▼平成27年度分の会費について

コンビニエンスストアで会費の納入が可能になります。別にお配りするご案内をご覧ください。

▼就業報告書の提出期限を守ってください

就業報告書の提出日は、翌月3日まで。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。
(※やむを得ない方はファックスでご送付ください。期限内は当月扱いとなります。)



【定時総会開催のお知らせ】

●平成27年度定時総会

・日時 平成27年

5月28日(木)

・場所 松戸市民会館

確定申告 配分金の税金関係の取扱い について

◎シルバーで就業していて一定額以上の配分金収入がありますと、他の収入(年金等)と併せて確定申告(2月16日(月)から3月16日(月)まで)を行わなければなりません。

◎配分金収入は所得税法上「雑所得」に区分されます。雑所得の金額は原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。なお、必要経費の額が65万円未満の場合は「租税特別措置法第27条の適用により、65万円(配分金収入が65万円未満の場合は配分金収入の額)を上限として控除することができます。

◎その他不明な点や詳細につきましては松戸税務署(電話363-1171)にお問い合わせください。

◎配分金支払証明書を希望する方は、事務局に電話で、ご連絡を頂き、指定した日以降にお渡しできますのでお越しください。(注)給与所得のある方は控除額が異なります。

★公的年金等からの源泉徴収>>>公的年金等の支払いを受けるときは、原則として収入金額からその年金に応じて定められている一定の控除額を差し引いた額に所得税率を乗じた金額が源泉徴収されます。

★申告手続き>>>公的年金等に係る雑所得の金額から所得控除を差し引くと残額がある方は確定申告で税額を清算することとなります。但し平成23年度分以後は、その年において公的年金等に係る雑所得を有する居住地で、その年中の公的年金等の収入金額が400万円以下であり、かつ、その年分の公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には確定申告の必要はありません。

(注1) この場合であっても、例えば、医療費控除による所得税の還付を受けるための確定申告をすることができます。

(注2) 公的年金等以外の所得金額が20万円以下で確定申告の必要がない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

●会員の収入が配分金のみの場合

「(配分金)－(配分金の特例控除65万円)－(基礎控除38万円)」
×所得税率＝所得税額
※配分金のみの場合103万円まで所得税が課税されません。

●会員の収入が配分金と公的年金の場合

「[(配分金－配分金の特例控除65万円)+(公的年金等－公的年金等控除額)]－[基礎控除38万円+その他所得控除]」×所得税率＝所得税額

配分金支払日

1月22日(木) 2月13日(金) 3月13日(金)
4月15日(水) 5月22日(金) 6月15日(月)

●平成26年度事故状況 事故ゼロを目指して●

	日付/事故種	業種/事故者	事故状況	事故原因/再発防止
1	5月12日(月) PM 1:00 物損(賠償)	自転車放置防止 指導/男性(73)	放置自転車を移動した際強風で自転車が転倒し駐車中の車体を損傷。	安全目配りの欠如が原因。必要上自転車等を移動する場合は、状況や天候を考え安全な場所に移動するよう指導。
2	6月19日(木) AM 11:30 物損(賠償)	植木剪定就業中 /男性(74)	電気バリカンで剪定中、誤って電話ケーブルを切断。	バリカン作業の際の周囲確認は勿論、移動や方向変更の時は一旦バリカンを停止するなど慎重に作業するよう指導。
3	8月24日(日) AM 12:00 物損(賠償)	植木剪定就業中 /男性(82)	刈込みばさみで植木剪定中、誤って電話線ケーブルを切断。	状況確認と慎重さ不足が原因。ハサミを入れる前は配線等の有無を慎重に確認するよう指導。
4	9月14日(日) PM18:00/傷害	駐輪場管理就業 中/男性(72)	駐輪場内を巡回中転倒。左橈尺骨遠位端骨折。	状況不確認、注意不足が原因。作業の際は常に足元や障害物を確認するよう指示。
5	10月8日(水) AM 8:00/傷害	火災報知器取付就業途上/男性(72)	自転車で取付先へ向かう途中、道路に出ようとした自動車に接触し、左足打撲。	自動車運転者の確認不足が原因だったが、交差点や見通しの悪い場所では、安全確認後も警戒を怠らぬよう指導。
6	10月28日(火) AM 9:30/傷害	屋外清掃就業中 /男性(75)	松戸駅前通りを清掃中、足がもつれ転倒、左足打撲。	不安定な姿勢での作業が原因。無理な姿勢を避け慎重に作業するよう指導。

★安全標語★

気がつかぬ 体の衰え 怪我のもと
(公益社団法人松戸市シルバー人材センター)
安全は 目くばり 気づき 再確認
(公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会)
安全は 一歩かける ゆとりから
(公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会)

特集

私のふるさと



童謡「ふるさと」

を歌うと誰もが一緒に幼い頃の世界に吸い込まれます。ではみなさんのふるさとをご紹介しましょう。

5班 与那嶺政吉

故郷は大阪です。気候風土に恵まれ、自ずと笑いを誘われる方言、それにもまして自慢したいのは、気の置けない友だちです。帰省する度に命の洗濯をしているようで、またストレスを感じたら帰省しようと思っています。

8班 柴田光幸

私の少年期の想い出は、春夏秋冬の休み毎に父の田舎（福岡県糸島郡芥屋）へ木炭バスに揺られて行ったこと。春はつくし採り、夏はヤドカリを餌に魚釣り、冬にはスズメやメジロ捕り等々、まぶたを閉じれば田舎の風景が懐かしく浮かぶ昨今です。

8班 染谷洋子

ふるさは松戸から近い利根川と印旛沼に見守られ、田畑や草木にまみれ、とんぼやバッタと遊べる印旛郡の安食という所です。隣村の小さな田んぼは冬、数千羽の白鳥とカメラマンで賑わいます。他に房総の村（風土記の丘）、七不思議伝説の龍角寺、かつて両陛下も立ち寄られた古い農家があり、秋の芋掘り、落花生掘りなど体験型ハイキングにはもってこいの田舎です。

8班 服部幸隆

ふるさとと言えるかどうか、荒川と江戸川を越えた町屋。文字通りの下町で、落語のよな長屋があり、隣近所がみな親しく、幼い頃は近所のおじさん、おばさんに可愛がられ、とても生活しやすい所でした。風景こそ変わりましたが、人情は今も変わっていないと思っています。

10班 清宮照子

東京の下町、足立区千住がふる里。日光街道の宿場町として栄え、芭蕉の奥の細道の出発点でも有名です。森鴎外の森医院跡、長屋門の名倉医院、手描き絵馬屋等の名残、そして蔵や銭湯のレトロとモダンな駅ビルが両立して好き

です。

12班 角名敦夫

ふる里は天津（滋賀）です。春から夏にかけて、山で野いちご、川で鮎を捕り、琵琶湖ではモロコ、ワタカを釣り、真夏には泳ぎ、自然の中で育ちました。長く帰れていませんが、琵琶湖マラソンをテレビで観るのが楽しみです。いつも思いたっています。

12班 島田剛

上州名物「焼まんじゅう」は子供の頃から食べた味。味噌だれ味の食感は今でも懐かしい。毎年開催される高校の同窓会には、地元前橋の老舗が東京まで出張し、その場で焼きたてが食べ放題の上、お土産付きだ。この美味、一度ご賞味あれ。

2班 天野昭夫

山梨は大月市。今は見られないが実家の近くにサンショウウオやサワガニが棲む小川があります。水温は夏でも冷たく、石を積み重ねてのダム作りして遊んだり、家の中に舞い込んできたホタルをてのひらで観察したことなど思い出します。変わらないのは裏山から見える富士山です。

11班 跡部 孟



私のふる里は熊本県の温泉町・山鹿市です。自慢は伝統工芸「山鹿灯籠」。和紙と糊だけで神社・城郭など精巧に作る紙工芸品で、8月の灯籠祭で町内毎に展示します。クライマックスは女性が頭に金灯籠をのせ、夜通し踊る千人灯籠踊り。テレビでも紹介され全国区になりました。

2班 山田晋也

木綿の里・真岡（茨城）での少年の日はもっぱら木剣で時代劇。主役は年上で切られ役は年下。春は竹の皮に包んだ梅干をしゃぶりの口の周りを真っ赤にして山野を駆けまわった。遊び道具はのこぎり、ナイフ、錐を使い自分で作った。ケガや痛さの中で道具の使い方を学んだ。今の子供や孫たちはどうだろう。

11班 奥石紀雄

ふる里は北杜市（山梨）。八ヶ岳に近い町である。春は山でワラビ採り、夏は近くの川で泳ぎ、秋は葡萄、桃と果物は豊富だ。冬は手作りの橇でよく遊んだ。これから十年、楽しく頑張ろう。

7班 堀江剛

わがふる里常陸太田市（茨城）の名所・西山荘（せいざんそう）は黄門水戸光圀（第2代水戸藩主）の隠居所です。私が小さい頃は観光客も多くなく、静かな山里でした。山荘前の池は黄門様の思いから「心」をかたどっています。最近復旧工事が完成。晩年の黄門様を偲ぶいい機会です。

3班 藤田正史

わが家族は母親の実家、柏崎市（新潟）に疎開しました。柏崎は日本海でも有数の海水浴場で、帰京後、小中学生になっても、柏崎へ行って泳いだり、釣りなどをして楽しく過ごしました。実家は海に近く、朝、トビウオが空中を飛ぶ姿を、今も懐かしく思い出します。

8班 市川今朝男

ふる里は高齢化率日本一（65%）の南牧村（長野）です。最近テレビ等でも紹介されたように80、90歳はザラ。食材が豊富な山河、段々畑を元気で上り下り。私の元気の源はシルバーでの就業です。

10班 永嶋章雄

うさぎ追いしかの山 こぶ

な釣りしかの川 そんなメロ
ディに乗ってバスが通う養老
溪谷（千葉）が私のふる里。
春は新緑と水月寺内のツツジ、
秋は「栗又の瀧」が訪れる人
の目を堪能させてくれます。
今年はこの地で5年に一度の
同窓会です。

10班 高橋 昌平

南蔵王のふもと七ヶ宿町（宮
城）が私のふる里。昔は参勤
交代の街道でその名がある。
子供の頃村から3キロ山奥の
栗林に、山の管理人の紹介で
栗拾いに行った。熊が食べ散
らかした後にも栗は落ちてい
て、母と併せて80キロも拾っ
た。背負った栗の重かったこ
と。干し栗は冬季のおやつに
なった。栗を見ると、あの栗
拾いを思い出す。

6班 足利 幸吉

ふる里は岩手。若き日は帰
郷の繰り返し。子どもが生ま
れてからは特に帰ることを心
がけた。田舎を教えたかった
から。その子どもたちも今は
家庭を持ち、孫もいる。ここ
十数年ほどは帰っていない。
故郷は遠きにありて思うもの：
今は是だ。

11班 野中 駒男

私は群馬の生まれで21歳ま

で高崎に住んでいました。子
供の頃、冬は上毛三山（赤城・
榛名・妙義）からくる赤城お
ろしの空つ風で小石が頬に強
く当たり、大変痛かったこと
は忘れられない。この強風下
に自慢の特産品下仁田ねぎと
こんにゃくが出来るのは嬉し
い皮肉です。

6班 茶木 恵津子

会津（福島）の地の果てに
生まれ、兄弟10人仲が良かつ
たです。女2人の2番目。性
格は男勝り。春は弟を背に授
乳のため野良の母のもとへ行
き、持参した塩をスカンポに
つけて食べるのが楽しみ。秋
には姉とお蚕さまの桑を摘み、
桑の実を口を紫にして食べ、
自分の宝の場所であけびや野
いちごを採りました。冬には
麴作りから味噌作り、3升の
米とぎも小学1年からやり、
その後勉強でした。皆高校
へも行き、親は大変でした。
一度の人生、歳にめげず感謝
で生きようじゃありませんか。

8班 若井 正幸

小説『雪国』で有名な上越
国境の清水トンネルを抜けて
北へ50キロ、ふる里越後松代
の名物は雪だ。11月の雲に始
まり、真冬には一晩に60セン
チの降雪。積雪は4米超で隣

村との交流は杜絶する。藁靴
にかんじき履きで隣家までの
坂道を踏み固めるのが日課。
身長より高く積もった屋根の
雪下ろしは3月まで続く。中
学校まで3キロ、濡れたズボ
ンを教室のだるまストーブで
乾かして授業開始。先生のあ
だ名もダルマだった。JRの
開通で村は十日町市に合併。
裏山に温泉が出、雲海も悩み
の雪も観光資源に。今や関越
道を走ればわずか5時間だ。

3班 鍵 昌治

大阪生まれの私。最近同郷
の青年と懇談した。私が上京
するとき、歓送会で「王将」
を歌ったことを話すと、青年
曰く、「王将って、あの餃子
の？」これには唖然。坂
田三吉翁も草葉の陰で、さぞ
や口惜し涙を流していること
だろう。

12班 東家 司郎

ふる里豊岡市（兵庫）は日
本海に面した漁業の街。城崎
温泉は全国区です。幼少の頃
は魚料理が多かった記憶があ
り、栄螺も蟹も山ほど頂いた
中学校の同窓会も未だに続い
ており、そろそろ顔を出すつ
もりです。

3班 石崎 学

わがふる里大崎市（宮城）
は風光明媚な田園が育む「ひ
とめぼれ」の米所。西に蔵王
と鳴子温泉、東に塩釜と松島
港をひかえ、山の幸海の幸に
恵まれて育ちました。今はお
陰様で駐輪場管理の傍ら、農
園を借り、野菜作りに精出し
ています。

5班 鈴木 敏央

北へ行けば「象潟や雨に西
施がねぶの花」、南へ向けば
「暑き日を海に入れたり最上
川」（以上芭蕉の奥の細道よ
り）。霊峰鳥海山のふもと、
湧水豊かな米所の庄内平野、
日本海沿岸で酒田砂丘の真下、
飽海郡遊佐町（山形）が自慢
のふる里です。魚は美味しい
酒も最高。

2班 河村 光男

忘れもしない中学2年のヤ
ンチャな頃、友人に誘われて
縁の無い図書館に入りました。
ふと手にしたのが明治の文豪
伊藤左千夫の『野菊の墓』。
小説など読んだことのない私
がどうにか読み終わった時、
衝撃と感動を受け、大の小説
好きになっていました。それ
が後に都内から松戸に引っ越
した動機でした。奇しくも新
生松戸市の誕生も私と同じ1
943年。私はこの町に骨を

埋めるでしょう。

5班 小竹 和子

ふる里は山口です。蔵の前
の日だまりで、吉田松陰や毛
利藩の話聞くのが大好きで
した。SLの走る音を聞き、
暗くなるまで遊んだ棚田。萩
焼の窯開きの器に、かまぼこ
をいっぱい入れて、兄弟で食
べるのが、最高の田舎のご馳
走でした。

11班 中尾 勝美

北国の日本海に面した小さ
な町余市（北海道）です。家
の前後に川があり、夏は泳い
だり蛸や魚を捕ったり、冬は
スケートで遊びました。（よ
い願いが叶う町？）生まれ故
郷はNHK朝の連続ドラマ（『マ
ッサン』）の舞台の一つで、
これから毎日が楽しみです。

3班 戸張 実

ふる里は松戸・栄町西。田
畑が多かったことで、遊び場
に不自由しなかった。道具は
手作り、柳の枝で刀を作り、
チャンバラごっこ。いつも切
られ役だった。木の股にゴム
を付けたパチンコで的当て、
竹馬での競争。あれから60年、
今はすっかり住宅地が変わっ
たが、懐かしき、よき思い出
は残っています。

9班 安本芳枝

子供の頃はよく遊んだ。ランドセルを置くと外へ飛びだし、ゴム縄跳び、歩道にろう石で丸を書いてケンケンパー。毎日暗くなるまで家へ入らなかった。今はテレビやゲームもあるので外で遊んでる子は見かけない。昔の子どもはよかったと思えてくる。あ、ふる里は豊島区池袋です。

8班 大熊洋征

足立区です。定年後は学生時代以来38年ぶりに謡曲の稽古を再開。松戸と杉並で、月1回古典芸能に親しんでいます。正座して謡うので腹式呼吸になり、とても健康的です。春秋に各1回、松戸市民劇場で発表会があります。

12班 山崎修平

会津(福島)は北西の僻地、山形県境に近く名峰飯豊山の麓が故郷。今はラーメンの喜多方市に合併され、産土の耶麻郡山都町早稲谷の地名はよほどの地図でないと見かけません。それでも白虎隊の誇りだけは喪わないつもり。

古宮清三

(常務理事兼事務局長)

私は生まれてから今日に至

るまで、今の場所(松戸・五香)を離れたことがありません。私の祖父も父も同じでした。「故郷はどちらですか」と訊かれて、「……」となるのが常です。今住んでいる所と違った意味で「故郷」と言えるものをもった人を羨ましく思う時があります。「故郷」という歌に「兎追いかの山 小鮒釣りし かの川」とあります。私の家の近くもまさにこのような所でした。

「故郷」を「遠い昔」に置き換え、思いを巡らすと、感慨深いものを感じる年齢になりました。故郷をお持ちの皆さん。皆さんの故郷のお話を楽しみにしています。

地域班活動

○アサヒビール茨城工場見学

3班

10月10日、守谷市にあるアサヒビール茨城工場の見学と親睦会を実施。参加者9名。

アサヒの顔ともいうべきスーパードライの並々ならぬ品質管理の工程を9分にわたって案内、説明を受けた。地上60mの展望試飲コーナーでは



○合同講演会と交流会

4・5・6班

9月28日、稲台市民センターに45名が参加して開催。小川早苗前理事長をお招きし、「みんなで助け合う地域福祉」の演題でお話し頂いた。小川氏は社会的弱者への理解と援助に長い経験があり、今回は特にシルバー人材センターと地域の社会福祉協議会との相互連携による援助について詳しく説明された。

地域班活動委員会の小室委員長から今後の地域活動のあり方について、センターの鈴木主幹から求人状況の概要説明があり、会場近くの他班の参加者も加わって、約3時間の充実した交流会であった。

谷地田 由夫(5班)

○俳人小林一茶ゆかりの流山を訪ねて

8・9班合同

女性会員7名を交えた総勢22名が流山を散策。

眺望の開けた江戸川河川敷のワイガヤ昼食会では、一茶双樹記念館と万華鏡ギヤラリ見世蔵に話題が集まる。

「我ときて遊べや親のない雀」と一茶の句は平易で素朴な言葉の運びに作風の特徴があり、

魅せられるファンが多いのか。

万華鏡ギヤラリでは形・色・映像・価格に、これが万華鏡かと



仰天。心身ともに満たされた一日であった。

今田 尚俊(8班)

○8・9班活動のお知らせ

「一度は拝見したい」……8・9班合同行事、今年の幕開けは3月、待望の「皇居内見学」からです。続く4月は恒例の花見。詳細は添付の「ご案内」を御覧下さい。

ボランティア活動

○さわやか清掃活動

地域社会貢献の一環として、



力をお願いします。

ボランティア委員会

宇賀神 収(11班)

○松戸まつりに参加して

女性部会

今年も女性部会として参加させて頂きました。

好天気でお客様も多く、これも皆様のご理解と沢山のご提供品のたまもので楽しい一日でした。お陰様で、純利益16060円を売り上げるこ

とができました。収益金は、松戸市内の親子DE広場、保育園、老人ホーム等に寄付させて頂きます。

皆様の温かいお志に、関係者一同厚く御礼を申し上げます。齊藤みち子(6班)

会員のひろば

■吹き矢をたのしむ

今73歳にして自分に合ったスポーツをたのしんでおります。それは「吹き矢」。

ことし4月「吹き矢教室・秋梅の会」に入会しました。交流センターの2階で、基本動作（胸を張り、足腰に力を込め、的に集中力を高める）を通して心を整え、腹式呼吸で酸素を取り入れるなど、体内の血流、動脈硬化の予防にもなり、心身共に良いことに感じます。昨年12月、2段の試験に挑戦しました。

金井 八重子（3班）

■「ちょっといい話」

昨年晩秋の、ある朝のこと、老人福祉施設のゲートボール場に、突然ひとりの若い母親が現われました。「すみませんが、ちょっとベンチを貸して頂けないでしょうか」

この日はあいにく冷え込みの強い日で、プレーする人の姿もなく、管理の女性スタッフNさんが一人居るだけでした。普段はゲーム利用者以外入れないのですが、見ると母親の背中の赤ちゃんがグズリ始めています。Nさんは、屋外のベンチでは寒すぎると思

い、「事務所へどうぞ、今ストーブを点けますから」と招じ入れました。母親は背中から赤ちゃんを下ろしながら「この子にお乳をあげようと思いい場所を探していたのです。とても助かります」安堵の声が殺風景な部屋に流れます。寒い日のストーブの暖は何よりのもてなし。Nさんの温かい気遣いに、こちらも感動の拍手を送りたくまりました。

（島）

■「へお笑い」のご案内

笑う門には福も、脳細胞の活性化もやってくる…初春の市広報で見かけた寄席に出かけ、腹をよじって帰ってきた。勿体ないので皆さんにもおすそわけ。寄席名は「みりだいフレンド寄席」。詳細は（367・6579 小林理事）にご連絡。（老沼）

■接遇力、それは相手のきもちに寄り添うこと

「家事援助講習について」

まだ残暑の残る9月、接遇力向上を目指し、会員のための講習が行われた。栢野講師の話に感動し、共鳴し、背中を押された。その話とは。亡き妻の遺影を胸に旅するひとりの男性。ありし日の妻

はいつもそばに居る。昼食に入った店で、遺影と2人分の食事を頼み、写真に語りかけながらビールを頼んだ。配られてきたのはビールと共に2個のグラス。ウェイトレスの優しい心遣いだ。特別高い能力や技量を求められるのではない。利用者の気持ちに寄り添い、わかり合える私たちの年輪力を仕事に生かして欲しい。そう私には伝わった。橋本 モト

同好会に入りませんか

■絵本読み語り同好会

毎月第1火曜日10時より読書推進センターで定例会。市内の子どもや老人の施設で毎月絵本・紙芝居を読んでいます。昨夏は松戸伊勢丹で1週間子どもに絵本を読み大好評でした。入会歓迎です。

連絡先／島田 忠巳（7班）
（電話341・3544）

■手工芸同好会

会員は現在15名。シニア交流センターまつりには作品を展示販売しています。皆さん一緒にやりましょう。

連絡先／高橋 久子（5班）
（電話367・2317）

■グラウンド・ゴルフ同好会

・26年度大会結果
第1回・5月28日（水）

参加19名・優勝 山本敏明
第2回・9月17日（水）
参加27名・優勝 大山正
第3回・11月12日（水）
参加29名・優勝 頼頼雅弘
入会大歓迎・

連絡先／中川 忠興（12班）
（電話386・7433）

■フラダンス同好会

毎月第2月曜日、午後1時から胡録台のお店「胡録」でフラダンスとカラオケを楽しんでいます。参加大歓迎。

連絡先／小竹 和子（5班）
（電話360・0038）

■カラオケ同好会

毎月第3木曜日の正午から稔台駅前のカラオケ喫茶「花」で。どなたも大歓迎。

連絡先／小林 久芳（5班）
（電話367・6579）

■囲碁クラブ

毎月第2金曜日定例会、市民会館305号室（ながいき室）

連絡先／高橋 公（5班）
（電話364・2390）

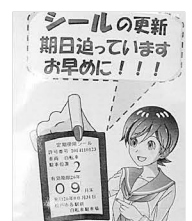
■民謡・舞踊愛好会

連絡先／関 政成（11班）
（電話389・7605）

駐輪場だより

■ポスター作りの（隠れた）名人あり

北松戸駅西口駐輪場には、ポスターを作らせたら右に出



る人がいない名人日会員がいます。今回は駐輪場を定期利用する人達への更新手続きの流れを防ぐ啓発ポスターです。とても素人と思えない見事な出来栄ではありませんか。山本博之（3班）

詩歌はたのし〜

〜短歌〜

村中美津子（賛助会員）
晴天にグラウンドゴルフ飛ばしたよ 勢い余ってみ空に消えた 秋深し足もと見れば枯葉山登って下って堆肥に最高

根岸 敦子（2班）

紅葉を愛でる人々うれしげに 皇居を歩く平和なひととき

〜俳句〜

小倉美枝子（2班）

かさかさ落葉のリズム里歩き 日だまりの皇帝グリア遠い空

若井 正幸（8班）

ボランテニア落葉掃く目の和みかな
台風ぞしじまに虫か雨の闇 灼熱を貫く人や除夜の鐘 凡才を慈しまれて初詣

白土貞夫 (3班)

ふる里を捨てふる里のさんま買う
さんま焼く母の背中を想い出し
秋なすをぶつと噛んで冷酒 (ひ
や) を飲む
秋まつりぎんなん拾う老婆かな

松本有介 (9班)

天狼や振られし骨に刀傷
参勤の開け放し駕籠初筑波
梨刺くや螺旋の果ての止め処
秋の灯や想ひし人の写真褪せ
三成や釣瓶落としを見損じし

田中義明 (2班)

しぐるるや京の町家のうす灯り
まほろばの北の古代は霧の中
どんぐりの色即是空ころころり
愛染明王ふんぬか愛か木の實際る

雅田如 (7班)

「難病のきょうこちゃんを救う会」に
参加して
きょうこちゃんを救うチャリ
ティ冬紅葉
冬帝へ届け祈りの募金箱
きょうこちゃんへ千羽鶴折る
紅葉の手
冬北斗渡米を果たせきょうこ
ちゃん
風を真正面に受け祈る

山崎修平 (12班)

塔よりの墓列さながら冬の街
ロボットが職奪 (と) る夢や冬

に入る

「帰る」てふ言葉行合ふ年の暮
除夜の鐘鳴るや秒針走り出す

老沼正一 (12班)

喜寿迎えヒツジに乗ってする行脚
喜寿迎え紙食べているマイデスク
喜寿迎えシユーズを愛える誕生日
喜寿迎え日の丸揚げる小さな庭

★次号投稿大募集!

私のふるさと 好評に応え
第2弾を募集します。
今回未投稿の方々大歓迎。

田舎がふる里、松戸がふる里、
東京がふる里、誰でもどこで
もOK。ふる里の想い出は楽
しくなつかしく。

(※ふるさと原稿は100字以上
でも可。但し調整が必要な場
合は一部割愛をご了承ください。
また本紙への全てのご投稿は
実名が原則です。ペンネーム
や匿名は受け付けかねますの
でご注意ください。ベ切日3
月20日(金) 会報編集委員会

◆賛助会員の皆様◆

- 法人会員 (順不同)
- 日本サンサイクル株式会社
- ベルクス北松戸店
- 株式会社吉廣商事
- 株式会社ユマニテ

株式会社 浅野製作所

- (有) アルファメディアカル
- 貴和ビル
- 松戸市はつらつクラブ連合会
- ケアハウスリバーサイドヴ
イラ

中崎印刷 (中崎貞男)

- 株式会社MKA
- 信功開発 (株) 川口伊勢代

個人会員 (順不同)

- 清水伴司郎 ○畑澤昭範
- 花嶋みつえ ○小島 高
- 加藤頼子 ○野村弘美
- 井上久子 ○高野由紀子
- 蛭田律子 ○向井 幸
- 石井芳子 ○市田美智子
- 小澤寿美子

いつもごひいきを戴き、誠
にありがとうございます。

■畑の会だより



11月下旬、芋煮会。新鮮野
菜の旨さは格別。
12月中旬、
無農薬の
大根、里
芋、葱、
白菜等の
販売大好
評。今は
冬支度と
して枯葉
糠など集めて腐葉土作り。春
の植付けに備え、会の力を蓄

えている。

■旅行報告

★日帰り旅行

10月17日
(金) / 茨城
県国営ひたち
海浜公園 / 参
加者51名



(渡辺(編)

★一泊旅行

11月20・21日 (木・金)

「深秋の群馬水上温泉へ」

参加者37名 (うち女性13名)
はデラックスバスで20日定期
八柱駅を出発。佐野厄除け大
師を参拝後、昼食は由緒ある
「新田之庄」で豪族料理に舌
鼓。午後は赤城フーズ (カリ
カリ梅) と月夜野びーどろパ
ーク (ガラス工場) で見学と
ショッピング。利根川渓流沿
いの「ホテル聚楽」に早めに
到着し、入浴で寛ぐ。宴会は
豪勢な酒肴に、カラオケ、フ
ラダンス、名取りの日舞まで
登場、盛況を極める。

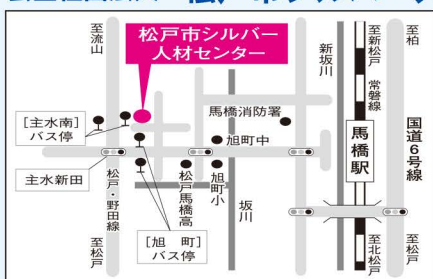
翌日は好天の下、雪化粧の
谷川岳を車窓に眺め、名利吉
祥寺 (室町期開山) で紅葉と
瀧をゆったり見物した。参加
常連あり、新参加者あり、多
くの関係者、篤志家さまのご
協力に、旅行委員一同、感謝
の極みです。

河田 實 (10班)

編集後記

私の故郷はいわゆる0メー
トル地帯の錦糸町である。自
然は少ないが実家の裏手には
錦糸公園があり、古い音楽堂
があつてかくれんぼや木登り
の格好の遊び場だった。大人
になった頃その音楽堂で野外
コンサートが開かれ、意外に
文化的な佇まいに驚いたが、
残念ながら公園の全面改修で
音楽堂はなくなった。
松戸も今はだいぶ変わった
が、吾が子たちにはここが正
に故郷だ。彼らが故郷の変貌
に気づくのは、あと何年先だ
ろうか。
(根岸(編)

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



〒271 0043 松戸市旭町一七四
TEL 0477-3310500
FAX 0477-3310508
・月曜日から金曜日
午前8:30～午後5:00
・土・日・祝日及び年末年始は
お休みです。

※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。
JR馬橋駅西口より徒歩25分・JR馬橋駅西口発(京成/バス)松戸駅行き 旭町下車3分